

〔主催：財団法人埼玉県建築住宅安全協会

後援：県内各特定行政庁〕

『定期報告』は、建築物、建築設備、昇降機及び遊戯施設のうち特定行政庁が対象として指定したものについて、損傷や腐食、劣化などによる障害が生じていないか、建築（又は設置）当初の機能が保たれているか…などについて、資格者の目によるチェックを受けてその結果を報告していただき、必要に応じて適切な措置をとることで「災害を未然に防止し利用者の安全を守る」ことを目的としています。建築物等の安全確認のために所有（管理）者に課せられた重要な義務規定です。

さらに、限りある地球資源を大切にす観点から、建築物等の寿命を長くすることが、近年強く求められています。定期的に調（検）査を実施していくことは、劣化の進行を予防することにもつながりますので、その意味でも大切な

ことと言えます。

ここ数年続いた事故や事件を教訓に、国土交通省では建築基準法施行規則の一部（定期報告書の様式）を改正するとともに、調（検）査方法並びに結果の判定基準を新たに告示で決めました（4月1日から施行されています）。

この改正によって新たに設けられた判定基準と、改正後の様式などについてご理解いただくため、3月、4月に引き続いて再度下記により開催します。

例年秋に開催している「実務要領講習会」は、今年は開催しませんので、悪しからずご了承願います。

また、建築士の資格で定期報告の業務をされる方には、②の建築設備の講習についても、是非受講していただきますよう申し添えます。

### (1) 開催日時及び会場

講習会名	日時	会場及び定員
① 建築物定期調査判定基準・様式改正講習会	7月10日(木) 10時～17時	建産連研修センター3階ホール 定員 各180名
② 建築設備定期検査判定基準・様式改正講習会	7月9日(水) 10時～17時	

(2) 聴講料 各講習共 1日に付き 2,500円（消費税を含む）

### (3) テキスト

講習会の別	テキスト A	テキスト B
① 建築物	特殊建築物等定期調査業務基準（2008年版） 5,000円 （財）日本建築防災協会 平成20年5月発行	定期調(検)査判定基準・報告書様式改正講習会テキスト(2008年版) 500円 （財）埼玉県建築住宅安全協会 平成20年3月発行
② 建築設備	2008年版建築設備定期検査業務基準書 4,000円 （財）日本建築設備・昇降機センター 平成20年5月発行	

\* 裏面を必ずお読みください。

(4) 受講資格 一級建築士、二級建築士、国土交通大臣指定講習会修了資格者並びに関係行政庁事務担当者

### (5) 腕章の発行

修了者で希望される方には、調（検）査の現場において身分証明となる『修了者腕章』を、講習のそれぞれについて発行します。このための費用は不要ですが、タテ4cm×ヨコ3cm、正面脱帽、裏面にお名前を記入した写真が必要（イラスト不可、両日受講の場合は2枚）になります。なお、写真はお申込みの際に申込書と一緒に送ってください。

### (6) 申込み方法

① 下の申込書に必要事項を記入し、聴講料等所定の金額及び80円切手を貼付したあて先明記の返信用封筒を同封（腕章をご希望の方は(5)の写真も）し、現金書留で6月30日までに必着で右記へ郵送願います。折り返し、聴講券、領収証等をお送りします。なお、申込書はお一人1枚でお願いします。複数受講の場合は、申込書をコピーしてお使いください。

☎336-0031

さいたま市南区鹿手袋4-1-7（建産連会館内）  
財団法人 埼玉県建築住宅安全協会  
☎048(865)0391 : FAX048(845)6720

② 7月1日以降は、直接事務局での受付となります。この場合は、①にある返信用封筒は不要となります。

③ 先着順で受付、定員になり次第締切りますので、お早めにお申込みください。なお、講習会当日のお申込み受付は、応じられませんのでご了承願います。

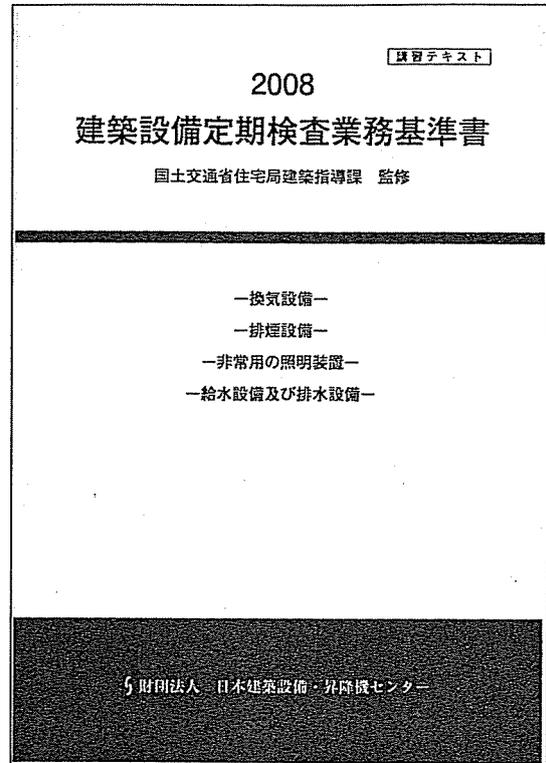
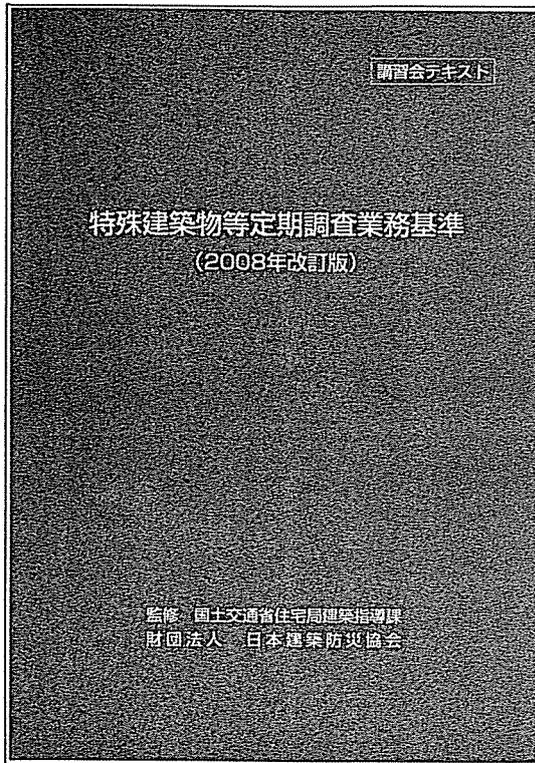
- ご注意
1. 建産連の駐車場は台数が限られています。近隣の道路上はすべて駐車禁止区域です。環境への配慮の観点からも、講習会当日のご来場の際は公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。
  2. 協会に業務届出をされている方は、当協会発行の業務手帳を忘れずにご持参ください。
  3. お申込み後にご都合が悪くなった場合は、後日資料をお送りしますが、受講料等の返金はいたしかねますので、ご了承ください。

\*テキストについて

テキストA

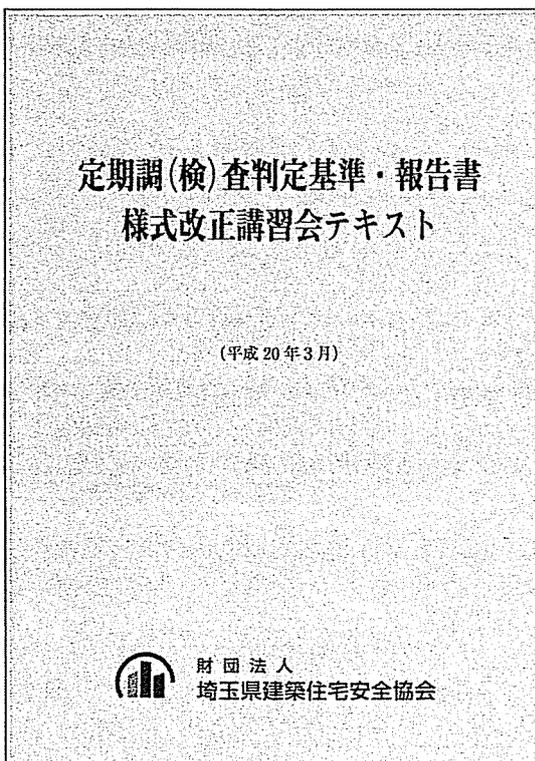
- ① 建築物 ② 建築設備 共に、

今年2月に中央法人が発行した『業務基準書（講習会用テキスト）』をお持ちの方は、それを使用できますので今回のテキストのお申込みは不要です。当日、忘れずにご持参ください。



テキストB

今年3月に発行した『定期調(検)査判定基準・報告書様式改正講習会テキスト』をお持ちの方は、それを使用できますので今回のテキストのお申込みは不要です。当日、忘れずにご持参ください。



定期調(検)査判定基準・報告書様式改正講習会申込書

No. \_\_\_\_\_

講習会名	受講	テキストA	テキストB	腕章発行	特記連絡事項
① 建築物調査判定基準・様式改正講習会		必要・不要	必要・不要	必要・不要 (必要の方は 写真を同封してください)	
② 建築設備検査判定基準・様式改正講習会		必要・不要			

\*受講を希望する講習について「受講」欄に ○ をしてください。「テキストA」、「テキストB」及び「腕章発行」の各欄は、必要・不要のどちらかに ○ をしてください。

上記講習会に、所定の金額を添えて申し込みます。

(ふりがな)

受講者氏名 \_\_\_\_\_

勤務先会社名 \_\_\_\_\_

勤務先電話番号 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_

勤務先所在地 \_\_\_\_\_

有している資格	登録又は認定番号
一級建築士	
二級建築士	
認定資格者(建築)	
" (設備)	

\* 該当する資格の番号を必ずご記入ください。

送金額 / 合計 円		
聴講料	テキストA	テキストB

\* 聴講料及びテキスト代のそれぞれと合計金額を、必ずご記入ください。